



社会福祉法人 恩賜財団

東京都同胞援護会

TOKYOTO ■ DOHO ■ ENGOKAI

同援だより

2014年 盛夏号(173号)

<http://www.doen.jp/>



社会福祉法人のあり方が問われている

常務理事 菅原 眞廣



先般、平成二十五年度の事業報告及び決算報告が役員会で承認されました。各施設、各事業ともおおむね所期の目標を達成することができました。関係各位と職員の皆様に心より感謝申し上げます。最近、社会福祉法人に対する風当たりが強くなっております。法人の私物化や、理事長ポストの売買など、適正な運営に努めている社会福祉法人にとって考えられないような不祥事が新聞紙上に取り上げられています。そうした不祥事だけではなく、特別養護老人ホームの内部留保問題に端を発して、社会福祉法人のあり方そのものが問われる状況が現出しています。非課税扱いとされているのにふさわしい社会貢献を行っているのか、そうでないならば課税すべきではないかとの議論が政府の「規制改革会議」をはじめとする諸会議でなされています。

我が法人でも独自にいくつかの社会貢献事業を行っていますが、今後さらに、積極的に社会貢献に取り組んでいくために何ができるかを各グループにおいて検討しているところです。他法人の皆様の取り組み事例なども参考にしたいと思っております。

今年も暑い夏がやってきます。食中毒や、熱中症に十分気を付けるとともに、節電対策にもしっかり取り組み、この夏を乗り切りたいと思います。

大山保育園 園舎改築に向けて

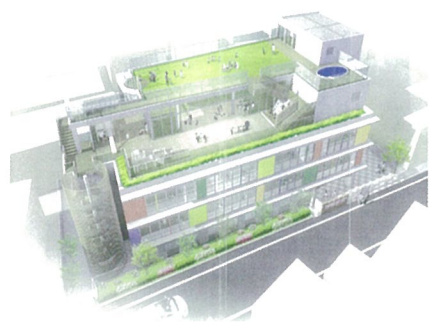
園 長 山 下 弘 子

新緑の鮮やかな季節、連休中の早朝突然大きな地震に驚きました。東日本大震災から三年の月日がたちますが、復興にはなお時間を要するようです。

震災後は、いろいろな対策を検討して、できることから準備をすすめております。

当園は昭和二十五年十二月に定員五〇名で開園しました。その後昭和四十七年改築し母子支援施設と併設した四階建ての施設でした。今年で四十二年が経ちます。

施設設備の老朽化と共に耐震面を



考慮し、改築へ向けて計画をしています。土地に限りがあり代替え地もなく、現地で建て替えとなりました。敷地内に仮園舎を建てることも出来ない為、仮園舎を建てる土地を探すことから始まりました。

東京都で実施している耐震化のための都有地活用事業に応募しました。事業の第一号事業者として大山保育園が決定され、近隣にあった東京都の土地を借りることが出来ました。今年一月には仮園舎を建てて引越しを済ませたところです。現在は本園の解体



も終わり四月吉日に地鎮祭を済ませました。子ども達も保護者近隣の方も新しい園舎の完成を楽しみにしているところです。

保育園理念である「愛・夢・未来を創造する広場」を基にした新園舎の建築の基本方針は、次のとおりです。

●子どもたちやすべての人が使いやすい施設づくり

耐震に優れ、安心・安全・健康に配慮した設計・木製建具の使用、家具や内装を材木質化することで暖かみや潤いを感じる空間をつくるための材料を選定します。

●子どもたちにとって快適な環境づくり

各保育室は、南北に窓を設け自然採光と通風を確保。子どもの遊び場所を刺激する遊戯室と野外空間、ウッドデッキと芝生の広場を回遊できる環境を作ります。

●子どもを守る防犯機能に優れた施設づくり

住宅街の中にあり道路に面しているために施設内外からの視認性を確保し死角のない施設にします。

●近隣に配慮した施設づくり

施設南側と道路側の相対する住宅の視線はプライバシー対策をします。

また遊戯室は防音サッシにします。新園舎は遊びこころを刺激する屋外空間の中で十分遊び切れるよう配慮して、二つひとつ経験を重ねることで成長に繋がられる保育園づくりをしていきます。

保育や子育てを取り巻く状況は転換期を迎えようとしています。次代を担う子ども達にとって乳幼児期は人間形成の基礎となる大事な時期です。その大事な時期を保育園の中で地域の人達に見守られながら希望を持ちこころ豊かにたくましく育ってほしいと願っています。

保護者・地域の皆様の理解のもと工事が安全第一で進められています。今後皆様のご支援ご協力をよろしく願いたします。



立川福祉作業所改築に向けて

～新しい施設の完成を思い描いて～

所 長 山 中 誠 一

●建設の経緯

立川福祉作業所は、平成十八年四月に東京都より民間移譲され、社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会の運営となりました。建物は、昭和五十三年三月に竣工、以来築三十五年が経過しました。建物及び設備の老朽化が進み、不具合も度々生じておりました。このたび民間移譲施設整備費補助金交付が決定し、平成二十七年に建て替えを行う事になりました。



●立川福祉作業所の基本コンセプト

開所以来、通所日を選択制とし、土曜祝祭日の開所、高い工賃を目指し新規受託企業の開拓や製パン事業の開始と共に店舗を開店し余暇活動の充実、本物を指向し様々なことに挑戦してきました。

今回新しい施設の開設に携わる機会をいただき職員一同話し合い、改築コンセプトは『誰もが誇りを持って働きたい会社をつくる』に決定しました。

①施設コンセプト

ご利用者に誇りに思ってもらえる職場、ご利用者が自己選択した仕事を通じ、満足感、充実感を得、心と体そして生活の安定を手に入れることができる魅力ある施設を目指します。新しい建物は、従来の福祉施設や公共の建物とは一線を画する開放感ある設計になっております。

②店舗コンセプト(バクバクカンパニー)

カンパニーの語源は、COM(緒に)PANION(パンを食べる仲間)という言葉があります。バクバクカンパ

ニーは、福祉施設付随店舗ではなく、同じ目的や価値観を持つ仲間同士が集う場所となり、多くの人が親しみを感じる事のできる地域での二番の店を目指します。

③地域コンセプト

より多くの地域の方に利用してもらえよう、ご利用者が先生となり、親と子が一緒に作る「親子パン教室」や「各種パン教室」の開催。多目的ホール・交流ラウンジを利用して様々な交流会やイベント等楽しいことを発信していきたいと思えます。

●建設の内容

①中庭を中心とした憩いの場、交流ラウンジと共に利用者の休憩、談話スペースを整備。通風、採光により明るく快適な空間づくりが可能。

②二階作業室は、外部に柱を出すことにより無柱空間として柔軟で自由に利用が可能です。

③店舗は視認性があり、施設のもう一つの顔として人を引き入れやすく、全面のオープンスペースを整備し、地域の人々が訪れやすい環境をつくります。

④省エネや環境共生に配慮して、太陽光パネルによる自然エネルギーの有効活用により、人に、自然にやさし

い施設をつくります。屋上庭園、運動場の人工芝による遮熱や断熱効果、CO2削減による地球温暖化の防止に努めます。

●おわりに

新しく生まれ変わる立川福祉作業所は、改築コンセプトである「誰もが誇りを持って働きたい会社をつくる」を基本に、ご利用者が自分で仕事を選択し、やりがいと責任を持ち、チャレンジし続ける環境を整えていきます。「自分の施設・自分の会社」と胸を張って言えるように努めていきます。地域においては、住民の皆様とともに街づくりのお手伝いに努めていく所存であります。

最後になりますが、改築工事においては、ご利用者、ご家族、地域の方々の安全を第一に工事を進めてまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



退 任 挨拶



むさしの保育園
前園長 高橋百合子

「むかしのえんちようせんせい、こんにちは！」と園児の声。三月に退職したばかりなのですが(笑)。

子ども達に関わり、子ども達と共に笑ったり、泣いたり、たくさん思い出を作ってくれた、子ども達の笑顔に感謝しつつ、今年三月退職を迎えました。

保育の仕事を目指し、公立保育園での四年間を経て、同僚援護会に就職しましたのは、昭和五十五年九月、まだまだ暑く、運動会の練習が始まる頃だったと思います。

四年間の経験はあるものの、特に年長児を寝かしつける午睡当番の時は、新参者にとつて恐怖の時間でした。素直に寝てくれる子どもは数人、こちらの必死な思いなど、知る由もなく、おしゃべりに花を咲かせる子ども達、先輩の保育士さんが駆けつけ、声で何事もなかった様な静けさ。そんな子ども達も今では、父となり母となり、子育ての大変さ、そして喜びを時折知らせて

くれます。

昭和五十五年頃の保育事情は、まだまだ今のような、保育士加配も充実しておらず、早番遅番の時は、三十名近い幼児を、隣のクラスへお願いする様な状況でした。

しかし保育室は、いつも楽しそうな賑やかな声と、季節毎のお客人(オタマジャクシ・ザリガニ・カタツムリ等々)でいっぱい、そんな光景が懐かしく思い出されます。

また子ども達との会話・子ども達のつぶやきは何よりも楽しく、子ども達の二言三言に、感動したり、反省させられたり勇気付けられたり。保育士にとつて子どもは、保育とは何かを教えてくれる、正に先生なのだと思います。

今年も多くの保育士さんが、同援に入職され、悪戦苦闘の日々が展開されている事と思います。

保育を取り巻く社会情勢が、大きく変わろうとしている今だからこそ、しっかりと子ども達や保護者と向き合い、保育士としての専門性を発揮して欲しいと思います。

保育園は家庭に代わる場所ではありません。また保護者の利便性を受け入れるだけではないはず。次世代を担う子ども達、大人になり、我が子に、何を語り継いでいくか、保育園の役割が問われている様に思います。

保育園に求められる課題は、益々多

種多様化してくる事でしょう。しかし子ども達の幸せを、キラキラ輝く子ども達の笑顔を第一に考えて、子どもが、保護者が、保育に携わる全ての職員が、「共に育つ保育園づくり」を目指して欲しいと思います。

最後になりましたが、保育士となり、施設長となり、大勢の人達との出会いから、たくさん学びをいただきました。

そして、保育する事の楽しさを共有し合い、支えて下さった職員の皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

ありがとうございました。



いこいの家
前園長 石川 宜子

昭和五十六年十一月から平成二十六年三月までの三十二年五カ月の間に、青山母子寮(現在のサンライズ青山)、山中母子寮(後のサンライズ山中、平成二十四年七月廃止)、サンライズ武蔵野、いこいの家と、児童・女性支援系グループの四施設で、利用者支援に携わらせていただきました。長い間、お世話になりました。

多くの方に支えていただき、ご指導をいただいていたことに、深く感謝申し上げます。

中学生の時に漠然と抱いた、将来、福祉の仕事に就きたいという夢は、大学で福祉を学ぶことにつながり、東京都同僚援護会への就職に結びつきました。

書記兼指導員として十三年五カ月、施設長として十九年。振り返ると、本当にたくさんのお会いがあり、人との関わりがあり、喜怒哀楽を共にした日々がありました。特に、書記兼指導員として過ごした青山母子寮での十三年五カ月は、私が福祉の仕事を通じてこられた原点であり、多くを学んだ場所です。

「失敗してもいいから、自分が気付



いたこと、考えたことを企画し、実行しなさい。責任は私が取るから。」と、思い切り仕事をさせてくれた上司。自分は福祉の仕事に向いているのだろうかと思った時も、「就職して三日目、三週間目、三カ月目に辞表を出したけれど、いつか三年が過ぎて、自分はこの仕事をしていく覚悟ができた。」と話され、励ましてくれました。

「色々な人間がいて、多様な関わりができることが利用者支援に必要であり、大切である。」自分がどのような人間であるかを知ることが良い利用者支援につながる。「私が仕事をすすんで、胸に刻んできたことです。」

この四月に入職された新任職員の皆さんは、職場にも慣れて、毎日の仕事に励んでいらつしやることと思います。どんなこともこれからの糧と受け止めて、利用者さんの立場に立てる支援者となってください。そして、次の同援を担って行ってください。



事務局企画部
前企画課長 小林 一江

桜咲く地を巡り、季節の色や香り、移ろう様を体感できる幸せは無上の喜びとなつて私を癒してくれます。

四十一年の同援護会勤務を終え、晴れて自由な時間を満喫していると、心は既に新たな希望と決意が漲り、過ぎた年月を改めて振り返ることも日常茶飯事でなくなりました。

そんな中、「同援だより」の原稿依頼を受け取り、忘れかけた時を巻き戻して思い出のアルバムを開けば、二十代の若かりし私が脇目も振らず机にかじりついて決算事務と格闘している姿でした。二か月近くも前任者不在で引き継ぎも指導もなく、一人前の経理事務員として全てを自らの力で切抜けなければ、与えられた仕事を全うすることができません。

手書き、手計算で多大な時間を要し、パソコン世代には想像すらできないかもしれない。負けん気と人を頼らない意固地なまでの徹底確認の信条はこうして培われ、自己研鑽の重要性を唱えてきたつもりでした。

私にとって恵まれたのは「人財」で、尊敬する上司に仕え学んだこと、法人内・外の頑張り屋の仲間の存在。事務処理も体制も近年に至るまで大きく変化し、そのたびに新たな知識や技術を学ぶ楽しさはワクワクの連続でした。

振り返れば幸せな仕事人生だったと今再び感謝の念を申し上げます。

新任施設長挨拶



ゆたか苑
園長 魚津 亮太

私が生まれ育ったのは山手線の目白駅から徒歩二〇分にある緑豊かな住宅街でした。当時は第二次ベビーブームとあつて小学校は増築した校舎でクラス四〇名、公園には子どもたちで溢れていました。

昨年四月よりゆたか苑に配属となり、二〇年ぶりにこの街を訪れました。表通りに面する建物は当時の商店からビルに変わり近代的な街並みとなつていましたが、一歩路地を入ると昔の面影が残っていました。懐かしい気持ちも束の間、修繕が必要と思われる家屋も少なくなく、庭の手入れも十分とはいえない家々を目にしました。道行く方々も子どもよりご年配の方が多いような印象を受けました。この街の高齢化も確実に進んでいる、そう感じました。

わが国は経験することのない少子高齢社会に突入しています。核家族化も進み、近所付き合いが希薄にな

る中、我々社会福祉法人は施設の運営だけではなく、街の人々を繋ぎ、コミュニティを作ることがもう一つの使命であると考えております。

ゆたか苑は区立公園に面し、早朝にはラジオ体操、日中は犬の散歩をする方、保育園児や小学生などの子どもたちも行き交います。近隣の方のために、既に町会の集会所として、子どもたちの休息場として、施設を開放し活用していただいています。

ゆたか苑では国の目指す「地域包括ケアシステム」に鑑み、これからの施設の機能を模索していますが、私はこの公園との共存がヒントになっているような気がします。公園に集まるように、地域の方々が気軽に立ち寄り、交流ができる施設を目指したいと思います。また大規模災害時には付近の要介護高齢者の受け入れや公園に一時避難をする方々のためにも非常食などの防災用品の準備も必要と感じています。

ゆたか苑の施設長として入居されている方々の生活を守ることはもちろんのこと、地域の方々から信頼される施設を目指してまいります。





むさしの保育園
園長 森 浩美

平成十一年四月、むさしの保育園、むさしの乳児保育園統合のとき、保育士として異動となりました。都内とは思えないほどの広い園庭と木々。昭和三十三年ごろは、園庭の南側を流れる善福寺川も、小川の風情があり、レンゲの花が咲く川つぶちの流れを眺めながら歩くことが出来たそうです。その川も昭和五十七年と平成に入ってから、台風による二度の氾濫にありました。時の移り変わりに伴い、川の様子は変わってしまったが、園舎、園庭と歴史の重みが感じられる保育園でした。

子どもとのふれあひも、あつという間で、七年の勤務で異動になりました。そして再びむさしの保育園での勤務につかさせていただいたのは、改築が始まろうとする、平成二十二年四月。新園舎の打ち合わせが少しずつすすんでいる時でした。五十年間、何百人、いや何千人と見守ってきた大きな櫟の木。クレーンを使つての伐採は、職員と子ども達が見守る中行われました。大きな木は切り株を残すだけになり、材木で小さな椅子を作つてもらい、大喜びしました。そし

て、長い時を刻んできた時計台もそのひとつ。仮園舎、仮事務所、そして新園舎が完成するまで、見守つてくれました。さて、平成二十七年度より、子ども子育て支援新制度の本格的施行に向けて、保育を取り巻く多くのことが変わっていくと思います。保育に欠けるお子さんのみでなく、様々なニーズに添えていくことも、これからの保育園の使命と思います。

五月より、杉並区独自の「子育て応援券」が利用可能保育園として登録をしました。一時保育や、地域の方の講座の場所として、参加しやすいうように取り組み始めました。子どもにとつて、保護者にとつて、これから、そして、今何が大切なのかを、職員と共に考え、共有し、初心を忘れずに努力して参りたいと思います。どうぞご指導宜しくお願い致します。



いこいの家
園長 福田 恭子

四月より施設長に着任し、婦人保護施設が抱える様々な課題を目の前にして、責任の重さを実感しています。以前にも八年間生活指導員として勤務し、その時は平成十三年のDV法制

定に伴い、いこいの家でも平成十四年に緊急一時保護委託開始、既存の建物のみで母子の受け入れも出来るように職員が協力工夫し、手探りの中で受け入れ担当として夢中でやっていたことを思い出します。今では改装され、一時保護用の浴室・プレイルーム・保育室・学習室等必要なものが完備されており、より安心して過ごせるようになっていきます。

本入所の方も当時は内作業中心でしたが、現在は地域でも様々な福祉的労働の場も増えて、その方にあつた働き方が出来るようになり外勤へと移行しています。短時間の外勤の方は昭和郷内の広場で開催しているエコシヨップにも関わり、地域の方々との交流も楽しみにしています。

婦人保護施設は根拠法を「売春防止法」と「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」においています。法律によって双方は利用者の地域自立支援、施設の社会化を目的とし、一方は暴力からの保護（危機回避）を目的としており、機能が二分化されていますが、最終的には法律を問わず、女性たちの「個々の状況に応じた自立支援」を行つていきます。

いこいの家では、こころや身体の疲れをとり、エネルギーを蓄え、本来の力を取り戻して新たな生活を築く準備が

新任課長挨拶



事務局 総務部
総務課長 品川 克美

四月一日付で事務局総務課長を拝命いたしました。

私は、昭和五十五年十月にフジホームから法人事務局へ異動しました。その当時の法人事務局は木造の建物で、玄関の庇は腐敗し、床は所々が抜けかけておりました。そのうえ雨が降れば雨漏りをするような古い建物で「大規模修繕とか建替えとかはないのか」と上司に聞いても、「施設の改築が優先で、法人本部は最後で良いと、いつも理事長が言っていた」との返事で、建替えどころか修繕す

ら簡単には出来ない状況下で、全てが施設優先でした。

当時の施設・事業所数は二十九カ所、職員は五百六十名余で、現在の三分の一くらいの人数だったと記憶しています。施設は母子寮(母子生活支援施設)・保育所の数が他の業種より多かったです。その頃の職員採用には応募が多数あり、特に高齢系施設の介護職員・調理員等については近隣の主婦が大勢応募してきていました。施設の非常勤は数名程度で、大半が正規採用という条件下だったからでしょうか、それに比べ現在は施設の収支状況等を見ながら、非常勤での採用が増えていることもあってか、応募が減少しています。特に看護師・保育士については困難な状況で苦勞するところです。今後は多数の方に応募してもらえような同胞援護会の特色を生かした職員待遇等を検討していく必要があると思っています。

私が主に担当している契約事務につきましても、良質なものをより廉価で取引できるように各施設の契約業務に協力し、庶務業務につきましても施設の業務が円滑に進められるよう考慮していきたいと思っています。

今後とも、ご指導をよろしくお願いたします。



事務局施設部
施設課長 小畑 賀生

四月二日に施設部施設課長を任命されました。

新卒で同援にお世話になり、みなと保育園で十二年、事務局施設部で今年二十年目を迎えました。

私が事務局に配属されたときは、本部の事務処理のみを行う完全な三部制をとっていましたが、その後事務センター化による担当部長制となり、施設の経理や庶務も行う現在の形へと変わってきました。

その中で施設部は、事務局内の事務分掌の見直しで施設との関わりも変わってきています。そして三年前には新たな仲間が加わり三人体制となり現在に至っております。

現在私は、大山保育園改築工事を担当させていただいております。今後は、昭和郷の整備計画や耐震診断で問題となっている施設、さらに順次老朽化していく施設への対応等、施設を継続的に運用するための中長期的な計画を法人全体として取り組まなければなりません。

施設運営については、安全対策、苦情対応、利用者の人権擁護・虐待防止等適切なサービスの提供について内部検査

等を通して関わらせていただきたいと思います。お待ちしております。

私としては、職名で仕事をしているわけではありませんが、部長の下でこれまで通り施設部職員として、施設や事業所において利用者本位のサービスが提供できるようサポートしていきたいと考えております。

新任副施設長挨拶



ニューフジホーム
副園長 柴田 聖子

四月よりニューフジホームの副園長を務めさせて頂くことになりました柴田と申します。昨年出産をし、一年程仕事を離れておりましたが、この度副園長という大役を任せて頂き、身の引き締まる思いがしています。昨年まで三年間地域包括支援センターにて、地域の高齢者の総合相談窓口として高齢者の方々、そしてそのご家族、地域の住民の方々と関わってきました。市役所や、地域の介護事業者、民生委員とも連携し、虐待ケースや家族内に複合的

に問題を抱えるケースにも関わる機会を頂きました。その中で特別養護老人ホームが地域の中で果たす役割の重要性も痛感しています。ニューフジホームは開園し、三十二年を迎えます。その中で蓄積されてきた介護のノウハウやボランティア団体との多様なネットワークなどを生かしながら、地域のセーフティネットとしての側面も充実させていければと思っています。地域の信頼できる施設として、「丁寧でやさしい寄り添う介護」を大切に、皆様に安心を提供できる場所、自分らしい生活を送って頂ける場所となっていけるよう精進していきたくと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願いたします。



さやま園
副園長 三瓶 達矢

ある企業の社長が「会社運営では社員を大切にすることが一番。その結果お客様に喜んでもらえる。」また別の社長は「社員の不満を解決するのが経営の仕事。社員のやる気をいかに起こすかがすべてである。」と言われていた。

福祉は人材で成り立つ業界です。四月からさやま園の副園長の立場に立

ち改めてまずは職員を第一に考え、モチベーションを引き出すことに力を注いでいきたいと考えています。

実は二月末に辞令を受けてから重圧の日々でした。しかし着任してから不思議と気持ちが落ち着きました。一つはゼロからスタートの気持ちに切り替えることができたこと。もう一つは職場環境が良かったことかと思えます。

さやま園はとにかく利用者も職員も女性が全体の八割と多いですが、若い職員は活気があり、ベテラン職員は気配りがあり、頼もしさを感じられます。利用者の方も話し好きで、園全体が明るい雰囲気です。

「職場は働きやすい、管理職はやりがいがあり、目指したい」と職員に思ってもらえるようにがんばってまいります。

最後に小茂根福祉園・さくらんぼで多くの先輩・後輩と共に仕事をしてきたことに感謝します。今の私の仕事のベースになっています。また管理職の道を作った頂いた園長の元で新しいスタートができることに感謝しています。



昭和郷第二保育園
副園長 堀 文子

四月より、昭和郷第二保育園の副園長を務めさせていただくことになりました。

した。異動して三年目となりますが、思えば新卒で保育士としてスタートしたのも当園でした。

保育については、二十七年齢から子ども子育て支援新制度が施行されることになり、まさに過渡期です。

一昨年度の二月下旬、旧園舎から新園舎への引越しを済ませた当園も今年度から日々の保育をさらに見直していくとしていきます。昨年度は、新園舎での保育を進めていく上で、主に様々なリスクマネジメントを最優先に考え、一つひとつに対応してきました。子ども満足・保護者満足・地域、職員満足が目標ですが、まず第一に子どもの育ちに寄り添う保育を目指し、保育課程の勉強から皆でやり直すことにしています。

園児の定員は百九十名ですが、待機児童解消の為に弾力化を図り、現在二百名近いお子さんをお預かりしています。そして、職員集団は非常勤保育士を含めて六十名の大所帯。副園長としての自分自身の課題は明確です。力不足は周囲の職員の力を借りつつ、日々プラス志向で補っていくと思っています。



祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の方が表彰されました。

おめでとございます。

◎ 東京都社会福祉協議会児童部会

永年勤続(十年)表彰

双葉園
家庭支援専門相談員 木村 早苗

資格取得の紹介

左記の方々が資格を取得しました。
日頃の業務に活かして活躍を期待します。

【介護福祉士】

フジホーム
介護職員 島津 雄介
介護職員 富永由美子
介護職員 鈴木 愛美
介護職員 合戸 美子
ニューフジホーム
介護職員 中島 歩
介護職員 永畑 絵理
介護職員 長谷川修平
介護職員 高山 文江
介護職員 西田 敬子
ひかり苑
介護職員 涌井麻理耶

ゆたか苑

介護職員 高橋 法子
介護職員 力石 孝明

昭島荘

介護職員 松本 聖哉

万世敬老園

支援員 小山 薫
支援員 十文字美希
支援員 野村 京子

さやま園

生活支援員 大熊 真也
生活支援員 吉田 集

さくらんぼ

生活支援員 對馬 尚美
生活支援員 栗原 好史

【社会福祉士】

原町ホーム

介護職員 佐久間 浩

東村山生活実習所

生活支援員 白井 慶祐

さやま園

生活支援員 力石 靖子

つつしが丘保育園

保育士 赤池 紗織

サンライズ武蔵野

母子支援員 清水みちる

【介護支援専門員】

ニューフジホーム

介護職員 土屋 久美

【精神保健福祉士】

原町ホーム

生活相談員 前田千紗子

平成25年度 事業報告について

平成26年5月28日に開催された理事会・評議員会において「平成25年度事業報告」並びに「平成25年度決算報告」が承認されましたのでお知らせいたします。

なお、本会の事業報告並びに決算書は頁数が相当数に及びますので、その要旨のみを9ページから14ページのとおり紙上掲載いたします。

法人事務局に「平成25年度事業報告・決算報告書」がございますので、詳細をお知りになりたい方は、事前にお電話で来訪日をお知らせいただければ閲覧していただけます。

平成25年度 事 業 報 告

平成25年度の日本経済は、緩やかな景気回復基調となりましたが、消費税増税後の影響など今後景気動向を左右する要因も多く、先行きは不透明な状況にあります。

国においては、社会保障制度改革が計画の段階から実行の段階に移行し、年金、医療、介護、子ども・子育ての各分野で、具体化に向けた議論が進んでいます。

当法人においては、引き続き利用者サービスの一層の充実を図るため施設運営に万全を期すとともに、人材の確保及び育成に努めました。

まず、施設運営については、利用者への個別計画に基づいた適切なサービスを提供するとともに、老朽化した設備の更新など利用者の安心・安全を確保するための対策を推進いたしました。

老朽化した施設の更新については、大山保育園の改築工事が計画通り進んでおり、立川福祉作業所も仮設建物建築が始まる段階となっております。

また新たに昭島市の(仮称)拝島駅前保育園の事業者公募に応募し、受託することになりました。

次に、人材の確保・育成については、25年度も新規学卒者の計画的な採用を進めるとともに、新規職員から施設長まで階層別に法人研修を実施したほか、各支援系グループにおいても分野別の研修を行い、職員の資質向上に繋げました。

最後に、昭島病院の運営についてですが、放射線医用画像情報管理システムの導入など医療設備の充実を図るとともに、地域医療連携の拡充や救急医療の積極的受け入れなど地域の中核病院の役割を担って参りました。また、今年度の収支状況についても引き続き黒字決算となりました。

この一年、施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援、ご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

同 援 だ よ り

平成25年度 施設利用状況報告

平成26年3月31日現在

グル ープ 名	種 別	施設名	利用状況										職員配置状況											
			定 員	利用者数 (3月末)	1日平均 利用者数	年間 利用者数	年間実 延日数	年間利用率			正規 職員	契約 職員	臨時職員	非常勤 職員	職員数 合計	常勤 換算								
								25年度	24年度	前年対比														
保 育 支 援 系	保 育 所	むさしの保育園	169	169.0	169.0	49,686	294	100.0%	106.0%	-6.0%	36	4	0	20	60	52.3								
		本園	140	140.0	140.0	41,160	294	100.0%	107.7%	-7.7%														
		方南分園	29	29.0	29.0	8,526	294	100.0%	98.6%	1.4%														
		昭和郷保育園	100	116.0	115.6	33,868	294	115.2%	117.2%	-2.0%														
		大山保育園	122	125.0	125.5	36,786	294	102.6%	104.5%	-1.9%														
		昭和郷第二保育園	190	198.0	194.0	56,846	294	101.8%	106.4%	-4.6%														
		みなと保育園	70	72.0	72.6	21,270	294	103.4%	103.5%	-0.1%														
		同援みどり保育園	125	130.0	130.8	38,331	294	104.3%	103.9%	0.4%														
		つつじが丘保育園	110	132.0	132.8	38,912	294	120.3%	120.0%	0.3%														
		同援さくら保育園	108	121.0	121.4	35,574	294	112.0%	110.0%	2.0%														
保育施設 計			994	1,063.0	1,062.0	311,273	—	106.5%	108.6%	-2.1%	197	21	8	136	362	302.5								
高 齢 者 支 援 系	養護老人ホーム	万世敬老園	200	198.0	201.0	73,366	365	100.5%	100.2%	0.3%	19	6	14	10	49	46.7								
		サンホーム	50	50.0	50.0	18,250	365	100.0%	100.0%	0.0%														
	軽費老人ホーム	ライトホーム	50	37.0	33.9	12,372	365	67.8%	66.8%	1.0%	1	2	0	0	3	3.0								
		救護施設	100	100.0	100.1	36,530	365	100.1%	100.0%	0.1%														
	小計			400	385.0	385.0	140,518	—	96.2%	96.0%	0.2%	—	—	—	—	—	—							
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業含)	フジホーム	104	94.6	98.0	35,775	365	94.2%	94.6%	-0.4%	27	17	9	12	65	57.1								
		ニューフジホーム	104	100.4	99.3	36,246	365	95.5%	96.0%	-0.5%														
		原町ホーム	52	52.2	52.0	18,962	365	99.9%	97.9%	2.0%														
		ゆたか苑	54	50.8	52.4	19,138	365	97.1%	98.9%	-1.8%														
		ひかり苑	54	52.6	53.2	19,402	365	98.4%	98.7%	-0.3%														
		小計 (介護施設)			368	350.6	354.9	129,523	—	96.4%							96.7%	-0.3%	—	—	—	—	—	—
		認知症対応型老人共同生活援助事業 (グループホーム)	かえで	9	9.0	8.2	3,011	365	91.7%	96.1%							-4.4%	2	4	0	4	10	8.8	
			原町グループホーム	18	18.0	15.7	5,713	365	87.0%	0.0%							87.0%							
			フジ・デイサービスセンター	25	18.5	18.0	5,531	307	72.1%	69.7%							2.4%							
		老人 デイサービスセンター	フジ・デイホーム	10	6.5	7.3	2,237	307	72.9%	79.3%							-6.4%	1	0	6	0	7	6.8	
	原町デイサービスセンター		12	7.5	5.7	1,765	308	47.8%	0.0%	47.8%														
	東大和市ふれあいデイセンターひかり苑		12	8.4	8.6	2,646	308	71.6%	62.7%	8.9%														
地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	966.0	41.0	12,647件	308	—	—	—	8	0	0	1	9	8.9									
	昭島市中部地域包括支援センター	—	1,011.0	34.8	10,272件	295	—	—	—															
居宅介護支援事業所	フジホーム	—	97.0	4.8	1,162	244	—	—	—	1	1	0	2	4	2.6									
	原町ホーム	—	72.0	2.3	655	288	—	—	—															
	ゆたか苑	—	88.0	4.1	993	244	—	—	—															
	ひかり苑	—	29.0	1.4	336	244	—	—	—															
	原町小規模多機能型居宅介護センター	—	25	14.0	10.3	3,771	365	41.3%	0.0%							41.3%								
小計 (介護在宅)			111	368.0	86.0	27,820	—	—	—	—	—	—	—	—	—									
公 益 事 業	フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—									
	高齢者施設 計			879	1,104.0	826.0	297,861	—	93.0%	94.6%	-1.6%	222	75	63	125	485	434.1							
障 害 者 支 援 系	障害者支援施設 (入所)	さやま園 (居住)	施設入所支援	96	92.0	86.7	31,660	365	90.4%	93.2%	-2.8%	48	15	0	24	87	77.8							
			生活介護	(90)	84.7	84.3	22,687	269	93.7%	92.9%	0.8%													
		就労移行支援	(6)	1.0	3.2	861	269	53.3%	100.1%	-46.8%														
		短期入所	4	—	1.5	562	365	38.5%	22.5%	16.0%														
	障害福祉サービス (通 所)	小茂根福祉園	生活介護	40	37.0	32.0	7,779	243	80.0%	80.2%	-0.2%	29	4	0	4	37	34.7							
			就労継続支援B	30	32.0	27.1	6,576	243	90.2%	87.3%	2.9%													
		生活介護	30	21.8	23.6	6,361	269	78.8%	75.8%	3.0%														
		就労継続支援B	35	28.3	31.5	8,478	269	90.0%	93.5%	-3.5%														
	東村山生活実習所	就労移行支援	10	9.0	9.4	2,519	269	93.6%	95.7%	-2.1%	10	4	0	18	32	24.2								
		生活介護	30	30.0	27.2	6,636	244	90.7%	90.9%	-0.2%														
	短期入所	10	12.0	10.2	2,484	244	101.8%	113.4%	-11.6%															
	生活介護	2	—	0.7	266	365	36.4%	36.8%	-0.4%															
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ	—	223.0	7.4	2,690	365	—	—	—	10	2	0	8	20	15.2								
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター	—	861.0	26.0	9,508	365	—	—	—														
	共 同 生 活 介 護 ・ 共 同 生 活 援 助 (知的障害者グループホーム)	アニティ富士見	6	6.0	5.9	2,160	365	98.6%	100.0%	-1.4%	—	(1)	—	—	0	—								
		グリーンハイツ	6	6.0	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%														
		フレンズ・モエ	4	4.0	3.7	1,357	365	92.9%	100.0%	-7.1%														
バル		6	6.0	5.7	2,072	365	94.6%	99.5%	-4.9%															
それいゆ小川		7	7.0	6.6	2,402	365	100.0%	100.0%	0.0%															
ファーム竹丘 1		6	6.0	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%															
ファーム竹丘 2		7	7.0	7.0	2,555	365	100.0%	100.0%	0.0%															
レジオンス巣鴨		4	4.0	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%															
はなみずき		4	4.0	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%															
ユーカリ		4	4.0	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%															
夢オハナ		6	6.0	6.0	2,183	365	99.8%	100.0%	-0.2%															
結オハナ		6	6.0	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%															
障害者施設 計			353	1,498	436.0	132,746	—	90.0%	91.2%	-1.2%	127	30	0	88	245	201.8								
児 童 ・ 女 性 支 援 系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	20	20.0	19.4	7,088	365	97.1%	98.4%	-1.3%	7	4	0	2	13	11.2								
		緊急一時保護事業	1	—	0.3	113	365	31.0%	0.0%	31.0%														
		サンライズ青山	20	18.0	17.7	6,467	365	88.6%	95.8%	-7.2%														
		緊急一時保護事業	1	—	0.3	114	365	31.2%	63.3%	-32.1%														
	サンライズ万世	20	19.0	18.2	6,643	365	91.0%	94.7%	-3.7%	6	5	0	4	15	12.7									
	緊急一時保護事業	2	—	0.2	87	365	11.9%	9.7%	2.2%															
	双葉園	50	48.0	48.7	17,793	365	97.5%	98.9%	-1.4%															
児 童 養 護 施 設	双葉園	(38)	(36.0)	36.7	13,413	365	96.7%	98.5%	-1.8%	21	6	1	6	34	37.8									
	高嶋の家 (地域小規模)	(6)	(6.0)	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%															
	くすのき (地域小規模)	(6)	(6.0)	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%															
	昭島市子どもワイライトステイ事業	(2)	1.7	—	112	365	—	—	—															
婦人保護施設	いごいの家	40	10.0	21.1	7,718	365	52.9%	74.7%	-21.8%	8	3	0	4	15	13.6									
児童厚生施設	昭島市児童センターばれっと	—	6,370.0	198.8	65,806	331	—	—	—															
放課後児童健全育成事業	つつじが丘北学童クラブ	50	23.0	27.0	7,937	294	54.0%	51.0%	3.0%															
児童・女性施設 計			204	6,508.0	351.9	119,766	—	83.5%	90.9%	-7.4%	57	22	1	37	117	97.8								
施設合計			2,430	10,172.0	2,675.683	861,646	—	96.0%	98.9%	-2.9%	603	148	72	386	1,209	1,036.2								
医 療	病 院	昭島病院	199	11,783.0	627.0	—	365	—	—	—	187	0	0	145	332	259.7								
		入院	199	4,714.0	144.0	—	365	72.2%	77.1%	-4.9%														
		外来	—	7,069	483.0	—	281	—	—	—														
訪問看護ステーション	—	—	12.1	3,200	263	—	—	—	4	0	0	2	6	—										
印刷	—	—	—	—	—	—	—	—																
土地・建物賃貸	—	—	—	—	—	—	—	—																
不動産賃貸事業	—	—	—	—	—	—	—	—	12	0	0	2	14	14.0										
事業局	—	—	—	—	—	—	—	—																
合 計 (福祉施設29、病院1、事業局1、その他事業29)			2,629	21,955	3,303.0	864,846	—	—	—	—	806	148	72	535	1,561	1,309.9								

注1 定員については母子支援施設は世帯数で他施設は人数。
注2 地域包括支援センターは、相談件数を記載。件数は、相談内容により重複している。
なお、利用者数の合計には算入していない。

同 援 だ よ り

資金収支計算書

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		合計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引消去
事業活動による収支	事業活動収入計(1)	10,530,119	10,088,331	140,734	312,953	▲11,899
	事業活動支出計(2)	9,753,918	9,361,257	128,673	275,887	▲11,899
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	776,201	727,074	12,061	37,066	0
施設整備等による収支	施設整備等収入計(4)	114,826	114,826	0	0	0
	施設整備等支出計(5)	682,727	671,067	1,073	10,587	0
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	▲567,901	▲556,241	▲1,073	▲10,587	0
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)	107,056	127,744	0	7,630	▲28,318
	その他の活動支出計(8)	172,352	179,982	4,558	16,130	▲28,318
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	▲65,296	▲52,238	▲4,558	▲8,500	0
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)		143,004	118,595	6,430	17,979	0
前期末支払資金残高(11)		2,955,275	2,846,523	35,152	73,600	0
当期末支払資金残高(10)+(11)		3,098,279	2,965,118	41,582	91,579	0

同 援 だ よ り

事業活動計算書

(自)平成25年4月1日 (至)平成26年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		合計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引消去
サービス活動増減の部	サービス活動収益計(1)	10,414,040	9,971,660	139,779	312,802	▲10,201
	サービス活動費用計(2)	10,105,274	9,705,185	129,087	282,901	▲11,899
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	308,766	266,475	10,692	29,901	1,698
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計(4)	115,400	115,992	955	151	▲1,698
	サービス活動外費用計(5)	49,692	49,299	0	393	0
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	65,708	66,693	955	▲242	▲1,698
経常増減差額 (7)=(3)+(6)		374,474	333,168	11,647	29,659	0
特別増減の部	特別収益計(8)	113,670	126,728	0	0	▲13,058
	特別費用計(9)	129,017	129,011	4,564	8,500	▲13,058
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	▲15,347	▲2,283	▲4,564	▲8,500	0
税引前当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		359,127	330,885	7,083	21,159	0
法人税、住民税及び事業税支出(12)		5,168	0	0	5,168	0
当期活動増減差額 (13)=(11)-(12)		353,959	330,885	7,083	15,991	0
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(14)	5,915,227	5,801,503	37,099	76,625	0
	当期末繰越活動増減差額 (15)=(13)+(14)	6,269,186	6,132,388	44,182	92,616	0
	基本金取崩額(16)	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額(17)	107,056	107,056	0	0	0
	その他の積立金積立額(18)	164,664	164,664	0	0	0
	次期繰越活動収支差額 (19)=(15)+(16)+(17)-(18)	6,211,578	6,074,780	44,182	92,616	0

同 援 だ よ り

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位:千円)

勘定科目	合計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引消去
資産の部					
流動資産	3,982,220	3,790,932	49,423	148,306	▲6,441
固定資産	16,795,076	16,731,791	8,800	246,692	▲192,207
(基本財産)	9,634,968	9,634,968	0	0	0
(その他の固定資産)	7,160,108	7,096,823	8,800	246,692	▲192,207
資産の部合計	20,777,296	20,522,723	58,223	394,998	▲198,648
負債の部					
流動負債	1,407,152	1,333,281	7,812	72,500	▲6,441
固定負債	1,892,452	1,875,812	0	208,847	▲192,207
負債の部合計	3,299,604	3,209,093	7,812	281,347	▲198,648
純資産の部					
基本金	997,735	991,500	0	6,235	0
国庫補助金等特別積立金	4,412,021	4,411,972	49	0	0
その他の積立金	5,856,358	5,835,378	6,180	14,800	0
次期繰越活動収支差額	6,211,578	6,074,780	44,182	92,616	0
(うち当期活動収支差額)	353,959	330,885	7,083	15,991	0
純資産の部合計	17,477,692	17,313,630	50,411	113,651	0
負債及び純資産の部合計	20,777,296	20,522,723	58,223	394,998	▲198,648

財 産 目 録

平成26年3月31日現在

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会

(単位:千円)

I 資 産 の 部		¥ 20,777,296
(1) 流 動 資 産	¥ 3,982,220	
(2) 固 定 資 産	¥ 16,795,076	
ア.基本財産	¥ 9,634,968	
イ.その他の固定資産	¥ 7,160,108	
II 負 債 の 部		¥ 3,299,604
(1) 流 動 負 債	¥ 1,407,152	
(2) 固 定 負 債	¥ 1,892,452	
III 差 引 純 資 産		¥ 17,477,692

監 事 監 査 報 告 書

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会
理事長 牧 野 洋 一 殿

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会
監 事 鈴 木 道 生
監 事 五 十 嵐 力 平

私たち監事は、社会福祉法第40条及び社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会定款第26条に基づき、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの平成25年度の事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会の財産の状況について監査いたしました。その結果につき本報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

[1] 監査の方法の概要

監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、貴法人の本部及び各施設における業務及び財産の状況を調査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、財務諸表及び事業報告書につき検討いたしました。

[2] 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記帳し、資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表及び付属明細書並びに財産目録の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、法令及び定款に従い法人の財産、資金収支及び事業活動の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務遂行に関する不整の行為及び法令もしくは定款に違反する重要な事実は認められません。



昭島病院のリハビリ

昭島病院 作業療法士 大山 秀己

当院のリハビリテーション(以下、リハビリ)では脳血管障害後の回復期リハビリテーションを実施しております。多くの方が発症後の急性期治療を終え、集中的にリハビリを受けるために当院へ転院されます。医師、看護師、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚療法士(ST)、相談員(MSW)らがチームとなり、退院までの間、家に帰ってから患者様が自立した生活をできるように援助します。このチームの中で寝たり起きたり歩いたりする身の回りの動きに関わるPTや着替えやトイレ動作といった活動に関わるOT、コミュニケーションや知的活動に関わるSTという専門職がいわゆるリハビリ専門職です。リハビリ専門職は患者様ご自身が身の回りのことができるように行う機能回復訓練だけではなく、ご自宅の手すりの設置や車いすの導入といった環境整備、ご家族が患者様を介助する方法やより円滑な生活が送れるように実生活で遭遇する課題に対する相談にもなっております。

突然の脳血管障害のため混乱し、どのように対処すればよいのか分からない方がほとんどで、残念ながら病前の生活能力に戻れない方が多くいらっしゃいます。そのため、退院後に介護保険を利用される方も多く、入院中から要介護認定を受けて頂きます。退院後に生活がしやすいようにご自宅の住宅改修も入院当初から準備をし、場合によっては患者様と共にご自宅を訪問します。実際に手すりの設置個所を確認し、普段の過ごし方を思い浮かべながら、どのようなリハビリが必要かを検討していきます。この際、患者様ご自身やご家族が主体となつて、より良い生活を過ごせるようにリハビリ専門職は援助していきます。

実際にリハビリを進めていくと思ってもいかなかった問題がおきたり、想像以上に患者様が頑張られ、驚かされたりすることが多くあります。当院のリハビリではそういったことも患者様とご家族を中心に共感し、取り組めればと思いつながらリハビリを行っております。

ご支援ありがとうございます(敬称略順不同)

ご寄付

◇朝生久子◇池田剛◇昭島サンセ
ルフ 高野裕司◇東京数寄屋橋ラ
イオンズクラブ◇新渡戸文化小学
校◇目黒区共同募金協力会◇(株)
タイスケ◇こもね会◇村山苑職員
有志一同代表 杉山陽子

後援会

◇青木薫◇怡田利江◇伊藤彰浩
◇海野昌伸◇大坪正次◇大西陽
◇小田昭子◇小野田和子◇蒲生
七郎◇神村諭◇木村伊三夫◇久
野顕次郎◇高仲智子◇佐藤哲子
◇鮫島恭江◇高橋暢子◇中村健
一◇中村浩二◇中村定徳◇野村
三郎◇広田規子◇福家謙介◇福
本光宏◇藤井隆◇細谷寛子◇南
雲栄一◇宮奈多摩江◇山口隼子
◇渡邊弘明◇大山町町会 会長
松野榮仁◇居宅介護サービス
えがお◇酒井屋製菓 杉山剛◇
シヤモア洋菓子店 塩野茂◇ス
マイルケア昭和の森◇ヘアパ
ルおかもと 岡本廣◇横田屋

米店◇(有)アタック◇(有)新井精肉
店◇(有)いとろ教材社◇(有)竹屋文
房具店◇(有)浜長水産◇(有)リハビ
リーサービス◇(株)相田土井設計
◇(株)石塚家具店◇(株)ウチダシス
テムズ◇浦野工業(株)◇エコア(株)
◇風間造園(株)◇(株)金井商店◇(株)
共伸インテリア◇国立厨房サ
ビス(株)◇桑都ビル管理(株)◇(株)越
川洋紙店◇(株)小平ケミカル◇(株)
サン・ホワイト◇(株)昭和造園◇
(株)世田谷酸素商事◇田所青果(株)
◇東京厚生信用組合本店◇(株)桃
源堂◇(株)肉の三橋◇日清医療食
品(株)東京支店◇ひかりのくに(株)
東京営業所◇(株)フジミ◇(株)三ツ
矢◇(株)メデイック・ジャパン◇
(株)森京介建築事務所◇(株)安江設
計研究所◇吉村電気工事(株)◇(株)
レクトン◇(株)ワイズマン◇ワタ
キューセイモア(株)神奈川営業所

※「同援だより名前掲載希望欄」に
○印をご記入頂いた方のみ掲載し
ております。

し
せ
じ
通
信

◆フジホーム◆

フジホームの利用者の皆さんと話す時、男性に限らず女性も若い頃にお酒を嗜んだ方は多いようです。

「ビールは好きだ」「お父さん(ご主人)の晩酌につきあった」等々。

そこで、利用者の皆さんと職員が共に楽しめる宴会が出来ないか、様々なセクシヨンの職員と検討を重ね、フジホームで「居酒屋」を開きました。

第二回目が昨年の五月。

天気が良かったので、三階の中庭を利用し、「ビアガーデン」と称して夕方の十六時から開始。中庭の周囲にヨシズを張って、提灯や灯光器をぶら下げて雰囲気作り。メニューは、つくねの焼き鳥、枝豆、冷奴の三種のおつまみ、ビール、梅酒ソーダ、カシスオレンドジで全てノンアルコールの飲み物。

三十名ほどの皆さんが来店。違うフロアの利用者さん同士で乾杯、酔っぱらって(?)なかなかフロアに戻らない方、久しぶりのビールで満面の笑みを浮かべている方、利用者も職員も一緒に楽しい時間を過ごし、盛況の内に終わりました。

これ以後は定期的に開店していきます。



今年の六月に行った居酒屋では、餃子の皮で作ったピザが好評で、普段はキザミ食の方が「こりゃ、おいしいわ」と何枚もおかわりされたり、梅酒(ノンアルコール)を三杯も飲んで酔っ払った様に笑いが止まらなくなつた方がいたり、いつもと違った雰囲気の中での「居酒屋」を皆さんは喜ばれていました。

次回は八月に開催予定。

お時間ございましたら、ぜひお立ち寄りください。冷たいビールと美味しいおつまみを用意してお待ちしております。

(佐藤 記)

◆小茂根福祉園◆

私たち小茂根福祉園では、毎月二回「コモネストカフェ」という喫茶店を開いています。当園にて自家焙煎された新鮮なコーヒーをメインに、近所で仕入れるケーキやクッキーをお出しし、利用者の方がスタッフを務めます。接客に照れてしまう利用者の方、お客さんに積極的に話しかける利用者の方など様々ではありますが、専用のエプロンとキヤップを身につけて、煎れたてのコーヒーを慎重に運ぶ姿は、もはや園の立派な仕事のひとつとなっています。そしてお客さんに褒められて見せるスタッフの笑顔は最高です。

カフェを開くようになって三年目を迎えた現在、少しずつではありますが一般のお客さんも足を運んでくださる日が増えてきました。「この間のイベントで飲んだコーヒーが美味しかったから来たよ」「赤ちゃんの出産内祝いにこのコーヒーを使いたい」と、味を気に入って買ってきてくださる方がいらつしやると、利用者職員ともども本当に嬉しくなり励みになります。そんな中、ある日障害のある赤ちゃんをもつお母さん二人がいらしたことがありました。「園のおまつりに来たことはあるけれどカフェがあることは知らず、偶然に知って今日は友達を誘って来てみた」とのことでした。ちょうどいらしていた利用者の親御さん方は、「少し抱っこさせて」「まあ、懐かしいわ、こんなだつたわね」と代わるがわる抱っこし、若いお母さんと話をしていました。障害のある子の子育ては、不安を持つ余裕す

同 援 佛 壇

万世敬老園 あじさる句会

春の月

今宵は上眩 陰りなく

畑中 穠

雲間より

しずかに覗く 春の月り

宣 準子

何処みても

さくらさくらと なりにけり

月岡 久三

惜しむよに

桜並木を 犬連れて

佐藤 玲子

朝まだき

寒き空にも 春の月

太田 義子





らないくらい無我夢中で必死に育てる時間、と口にする親御さんが多くいらっしゃいます。そのお母さん一人の真意を知ることができませんが、我が子を可愛いと抱っこしてくれ、自分の気持ちを理解してくれて話を聞いてくれて……勇気を出してカフェに入ったその一歩が、プラスの二歩三歩になっていたとしたら、こんな幸いなことはありません。これからも、そんな人と人とを繋ぐ出逢いの場になるようなカフェを目指して、開店していこうと考えています。

コネストカフェは、毎月第二第四金曜日、午後二時半から三時半の間にオープンしています、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

(高田 記)

◆ SNS家 ◆

婦人保護施設「この家」では、他の施設にはない大切な支援のひとつに「生の学習会」というものがあります。目的は、婦人保護事業ハンドブック(婦人保護事業制度研究会編)にも書かれていますが、利用者の方々が心とからだを大切にできる知識と技術の向上をめざすことです。それは健康に生きるだけでなく、性について正しく理解していくことで自分を守り、自分を大切にできることにつながります。

例年、女性のからだについての学習として、生理の悩みや生理用品の機能や選び方、熱中症対策などの補水液作成、インフルエンザなどの感染症予防、手洗いの仕方、冷え症対策の足湯など実践的な生活講座を企画しています。

昨年は、写真にあるような三十年ほど前の女性を取り巻く世相を詠んだカルタで遊ぶ企画を行いました。例えば、(き)の札は「均等法時代」家事も仕事も女の肩に、(ふ)の札は、「福祉の貧困」女にしろよせ高齢化社会などと、今見てもあまり変わらない内容で少し驚きます。カルタ取りは盛り上がり、ゲーム感覚で女性の抱える問題を保健師の講師よりその時代の解説を聞き、思い思いの意見を出し合うことができました。

実際この三十年女性の地位は先進諸国から見ても向上してきているとは言えません。二〇二三年世界経済フォーラムの報告では、日本の男女格差は二二六カ国中百五位と発表され欧米諸

国から大きく水をあけられています。婦人保護事業は、その発祥から五十年を超え今もなお支援を必要とする女性たちがいるのです。

(三田村 記)



◆ 事業局 ◆

旧都庁丸の内庁舎東三号より、昭和四十二年七月に昌平橋ビルに移転して四十六年がすぎました。この間昌平橋ビルを取り巻く環境は、神田青果市場・秋葉原電気街の賑わい、そして今、世界のオタクの人々が集まる街に変遷してきました。そんな昌平橋ビルも耐震基準を満たせず、この度移転することになりました。当地両国は、相撲部屋はもとより吉良邸址や勝海舟生誕の地等、歴史ある街です。どうぞ御用のある方も、そうでない方も気軽に立ち寄りください。

■ 新住所

東京都墨田区両国四一ー一八

田中ビル

昭島荘 道句会

春の雪
街の騒音 吸いこまれ
榎本 博吉

花筏
流れ流れて
宇治あたり
河内 通子

信濃路の
川の流れに
花いかた
神 きぬゑ

窓ぎわに
華やかに咲く
シクラメン
石塚フキ子

豆まきや
将棋仲間の
顔なじみ
池沢 香雄

花冷えや
娘と歩く
朝の通
加賀谷美智子

さえづりが
木々の上から
きこえるね
大滝 豊子

お知らせ

同援各施設では左記の予定でバザーや夏まつり等を開催致します。品物のご寄附ご協力等よろしくお願い致します。

- 小茂根福祉園 こもねフェスタ
七月五日(土)十五時～
- 大山保育園 夕涼み会
七月十一日(金)十七時～
- サンライズ青山 夏祭り
七月十二日(土)十二時～
- ゆたか苑 夕涼み会
七月十三日(日)十八時～
- つつじが丘保育園バザー
七月十七日(木)十五時三十分～
- つつじが丘保育園夏祭り
七月十七日(木)十八時～
- むさしの保育園はじっこ夕涼み会
七月十八日(金)十五時～
- 昭和郷納涼祭
七月二十四日(木)十八時～
- サンホーム納涼祭
七月二十五(金)十八時～
- さやま園夏祭り
八月二日(土)十七時～
- さいわい福祉センター夕涼み会
八月二(土)十七時～
- 児童センターぱれっと 感謝祭
十月一日(水)十時～
- さやま園祭(ひかり苑・サンホーム合同)
十月十九(日)十時～

お知らせ

- ゆたか苑 地域交流バザール
十月十九(日)十時～
- 同援さくら保育園 バザー
十一月一日(土)十二時～
- 昭和郷フェスティバル
十一月三日(月祝)十時～
- 大山保育園 ぼかぼかバザール
十一月八日(土)十二時半～
- 同援みどり保育園 グリーンバザー
十一月八日(土)十二時半～
- 小茂根福祉園 こもねまつり
十一月八日(土)十二時半～
- さくらんぼ祭り
十一月十六日(日)十二時半～

社会福祉法人 東京都同胞援護会
TOKYOTO・DOHO・ENGOKAI

2014 福祉サービス研究発表会

共通テーマ
『あなたの明日(みらい)へ
今、わたしたちができること』

平成26年 11月14日(金)

●開始 12:45 ●終了 17:30
●入場無料(資料代1000円)
●会場 国分寺市立いずみホール

第1部 (基調講演)
日本大学文学部社会福祉学科 教授 上之園 佳子 氏

第2部 (発表内容)
発表①: 障がい者支援施設 発表②: 高齢者支援施設
発表③: 児童女性支援施設 発表④: 保育支援施設

お問い合わせ 03-3341-7161 研究発表会事務局 <http://www.doen.jp>

訂正
同援だより前号のしせつ通信「サンライズ武蔵野」の寄稿者名について誤りがありました。正しくは(児島記)です。



雑感

我が家のそばの女子校から乾いた金属バットの音がする。女子校だが、系列の男子校の校庭が狭いため、放課後毎日、男子生徒の二団はバスに乗って部活動のためにやってくるのである。暑い日も寒い日も休日も雨が降る日も、甲子園に向かって練習をしている。しかし、その高校の試合を全国放送で見たことはない。

全国大会や世界を股に駆けて活躍する人は、ほんの握りの人たちだと思ふ。しかし、そんな私も難しいと思いつつも、がむしゃらに目標に向かっていく頃があった。今では遠い昔の思い出だが、だから余計に頑張っている姿を見ると「こんなに頑張っているのに」とつい親心で見えてしまう。

今年はどうなることやと期待を持ちつつ、今まで頑張ってきたことが、君たちの人生でいつか花開きますようにと願わずにいられない。(唐澤 記)

表紙の写真
「昭和記念公園」にて
(南山京子 氏)

平成二十六年七月十五日 発行
東京都新宿区原町三の八
電話 〇三(三三四一)七六一
社会福祉法人 東京都同胞援護会
発行者 牧野 洋一
印刷所 東京都同胞援護会事務局
東京都墨田区両国四一―八